

《双葉町放射線量等検証委員会 現地調査報告書》

検証議題	特定復興再生拠点区域の空間線量率について
地区	① 大字 長塚 字 寺内廻 地内（林縁部） ② 大字 長塚 字 寺内廻 地内（道路） ③ 大字 長塚 字 蛭子堂 地内（林縁部） ④ 大字 長塚 字 鬼木 地内（図書館内部） ⑤ 大字 長塚 字 谷沢町 地内（宅地）
<p>【事前情報総括】</p> 特定復興再生拠点区域において、比較的空間線量率が高い箇所が数か所報告されている。	
<p>【対応状況】</p> <p>① について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農地に隣接する森林を、堆積物除去により除染したが、除染後線量率 $3.8 \mu\text{Sv/h}$ を超えている箇所がある。 • 当該地目は森林ではあるが、農地へ続く道があり、道部分は削り取りによるフォローアップ除染を実施中。道でない森林箇所については、表土の削り取りを検討中。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 道路敷の未舗装部分の除染は堆積物除去のみ実施していたが、除染後に線量率が高い箇所は、フォローアップ除染として表土の削り取りも実施、表面は山砂を敷いた。その結果 $3.8 \mu\text{Sv/h}$ 以下に低減していることを確認。 • 森林部分は堆積物除去を実施した。 <p>③ について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 森林部分に除染後線量率が比較的高い箇所が点在している。 • 遺跡や古墳があり、近隣で町が行う事業と調整の上、必要に応じて表土の削り取りなどのフォローアップ除染を検討していきたい。 <p>④ について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 室内の被ばくの検証ということでモニタリングを実施し、$0.15 \mu\text{Sv/h}$ 以下だった。 <p>⑤ について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 比較的線量が高いエリアであり、道路の側溝付近で線量が高い箇所がある。 • 現在、解体、除染を進めており、除染後の線量率が高い場合にはフォローアップ除染を検討する。 	

【検証委員会からの意見等】

- $3.8\mu\text{Sv/h}$ は、人が住んで生活する場において下げないといけないが、林縁部の生活圏と言えない範囲をどこまで除染をするべきかは、検討が必要なのではないか。
- 森林等に入る場合には、個人被ばく線量計等を携帯してもらう等の対策を講じる必要がある。
- 森林の除染で表土を剥ぎ取りすぎると、土砂崩れ等の災害を引き起こす危険性もあることから、表土の剥ぎ取り等のバランスを見定める必要がある。
- 解体や除染について検討保留しているところで、除染が進まない箇所は、町が間に入って住民の理解を得る必要がある。
- 除染後に、土砂を敷いているが、雨等で流出しないような対策を検討する必要がある。
- ③の地区の近隣は、町が事業をしていることから、遺跡や古墳等を利用した公園整備等の他事業を実施することを検討する必要がある。
- ⑤の地区のように、解除後に人が居住する場所は被ばくの影響が大きいので $3.8\mu\text{Sv/h}$ を超えるポイントが無くなるようにする必要がある。

【現地調査の写真】

